



秋の研修旅行

普通コース ～イングランド中部・北部、スコットランド～

今年の研修旅行は、産業革命発祥の地であるイギリスの歴史と、そこでの行き過ぎた自然開発が自然保護へと向かっていった様子を学び、また、独自の文化を持つスコットランドを知る、ということがテーマでした。そのため英会話、社会科、European Studies などの授業を通して事前学習を行ってきました。

最初にバーミンガム近郊にあるブラックカントリー・ミュージアムを訪れました。

産業革命後、石炭や鉄鉱石が豊富なこの地域は大工業地帯であり、工場から排出される黒煙が立ち込めて「ブラックカントリー」と呼ばれるほどでした。19世紀後半から20世紀前半の商店や一般家庭をそのまま移築したオープンミュージアムで、生徒たちは当時の衣装を着たスタッフ（エキストラ）の方々に当時の暮らしぶりなどを聞いていました。午後はマンチェスターユナイテッドのホームである、オールドトラットフォードスタジアムを見学しました。選手のロッカールームに足を踏み入れた時とフィールドを間近で見た時、生徒たちはとても興奮している様子でした。

2日目、リバプールでビートルズストーリーとマージサイド海事博物館を見学しました。リバプールは奴隷貿易の港街として急激に発達し、また、産業革命時にはインドからの綿花が荷揚げされる街でした。海事博物館では奴隷貿易の歴史とタイタニック号について見学しました。

3日目、「ピーター・ラビット」の作者であるベアトリクス・ポターの家、ヒルトップを見学しました。ポターは土地開発業者による買い占めを防ぐため、「ピーター・ラビット」で得た収益で、湖水地方の土地や農地を買い、自然を残そうと活動した人です。彼女の死後もすべての土地と農場はナショナルトラストに寄付されました。映画「ミス・ポター」で見た、そのままの壁紙だったことや、畑や家の周りにかわいいリネズミの置物があったことなど、小さな発見になぜか心温かくなる見学でした。

その後、労働者の問題に取り組み、水力発電で紡績工場を稼働させ、労働者の住居、病院、学校、商店を展開していき、当時としては珍しい労働時間の短縮と児童労働の禁止を実現させた、ニューナークを見学しました。ロバート・オーウェンの経営理念に感動を覚え、興味深く見学をする生徒たちも多かったです。

4日目、スコットランド議会、ホリロードパレス、エディンバラ城を見学しました。スコットランドの英雄であるウィリアム・ウォレスとロバート・ザ・ブルースが両側に立ちそびえるエディンバラ城の入り口に立って、城を眺め上げた時には、自由と独立のために戦った昔の英雄を思い、胸が熱くなりました。

5日目、何名かは自主的にナショナルギャラリーに足を運び、ラファエロ、レンブラント、フェルメール、モネ、ゴッホ、エル・グレコの絵を鑑賞しました。その後、「鋼の恐竜」とも呼ばれる世界遺産「フォースブリッジ」に立ち寄ってから、空路、学園に戻りました。欧米の優れた技術を習得するため、スコットランドに工学を学びに来ていた渡邊嘉一が工事監督を務め、スコットランド紙幣にも描かれた先人の偉業です。

生徒たちは各見学場所で熱心に見たり、じっくり説明を読んだりしていました。テーマのもと学習を続けてきましたが、旅行では実際に足を運んで、自分の目で見て、肌で感じる事ができ、それがともすると実態のない情報だけを信じて振り回されそうになる日常を見直すきっかけにもなると思います。明治の先人たちのように信念や使命観をもって、生徒たちがこれからの社会で活躍して欲しいと思います。（谷地館）



サッカーコース ～ポルトガル（スペイン）～



サッカーコースは10月27日から6日間研修旅行としてポルトガルへ行ってきました。事前のミーティングでは【全勝】と【5分前行動】を目標に掲げ活動しました。出発初日は朝4時出発でしたが、全員遅れることなく無事に出発することができました。この旅では、全員時間を守って朝なども遅れることなく行えたことは良かったと思います。初日はポルトガル到着後、そのままバスでスペインのセビージャへ移動して、リーガエスパニョーラのセビージャvsヘタフェを観戦しました。去年はプロの試合を観戦できなかったのですが、今回観ることができて生徒たちも大興奮でした。



2日目以降はPortimonenseのホームグラウンドを拠点にして、アカデミーコーチによる指導を受けたり、普段とは違った環境でサッカーをすることができました。試合はポルトガル人チームと2試合、ブラジル人チームと1試合、計3試合行いました。結果は1勝2敗とチーム目標を達成することはできませんでしたが、結果以上に得ることは大きかったと思います。最後のミーティングでも選手一人一人の表情は決してネガティブな感じではなく、満足したような様子を見て取れたことはスタッフとしても嬉しかったです。事前に行ったミーティングでチームとしてのコンセプトを全員で共有できたのが、一つの要因だったのではないかと思います。また、初日に試合観戦ができたことで、各自がよりいいイメージを持って遠征期間を過ごせたのもよかったと思います。また、試合中は必死に戦って身体をぶつけ合いながらも、試合が終わると握手をして、お互いのプレーを褒め合い、一緒に写真撮影をしている姿なども見ることができました。このように好きなスポーツを通じていろんな国の人たちと出会い、関係を築けることは素晴らしいことですね。

これで終わるのではなく、年間の目標でもある「州大会優勝」を達成するために、ポルトガルでの経験を学園に帰ってきてからも活かしてほしいと思います。

最後になりますが、このような素晴らしい経験、海外遠征をサポートしてくださった多くの方々に感謝します。また、保護者の皆様にも日頃から学園のサッカーコース・部の運営にご協力いただきありがとうございます。また、お子様が日本に帰国された時にはたくさんお土産話を聞いてみてください。（三谷）



水曜コース

英国理解コース 11月13日(水)

水曜日の英国理解コースでは、毎学期のハイライトである Afternoon Tea に出かけました。出かける前に皆で紅茶の歴史を学び、様々な種類の紅茶のテイastingをしました。今学期は Science Afternoon Tea という体験をしました。ケーキが惑星の形だったり、青色だったり、スタンドからドライアイスの煙が出たり、スコーンのジャムがチューブに入っていたり、注射器の中に果汁が入っていたりと、まるで実験のような体験が出来る Afternoon Tea でした。Science Museum の近くなので、こういった趣向を凝らした Tea があるようです。今学期はこれで外出も終わりです。また来学期も皆と楽しく英国を満喫したいと思っています。(久保)



Maina コース 11月13日(水)

国際理解のコースは、先日、本校近辺にある Beachwood 中高等学校の生徒を迎え、一緒に「おやつ」を作りました。生徒たちは4つのチームに分かれ、2チームはスコーン、残り2チームは抹茶カップケーキを担当しました。ただ作るだけでなく、4チームそれぞれのレシピにタスクが与えられ、チーム内で問題を解き、おやつを焼かなければならない内容だったので、生徒たちの英語力が磨かれた機会になったと思います。設定された時間内でコミュニケーションをとり、自分の仕事をいかに効率的にこなせるか等、社会にでた時役に立つスキルも身につく経験になったのではないのでしょうか。現地の同年代と一緒に何かをするというきっかけが、英語学習の意欲にも繋がってもらえたらと願っています。

2学期残りの時間では、身近な世界料理のルートを辿り、リサーチとプレゼンテーションをしています。(Maina)



Activity コース 11月13日、20日(水)

アクティビティコースは、13日は Slough の Salt Hill Park でボーリング、20日は High Wycombe でトランポリンをしました。トランポリン施設は驚くほど広く、無数のトランポリンと、トランポリンを使ってプレーできる、バスケットボール、ドッジボールや SASUKE のようなアトラクションもありました。平日だったのでほぼ貸し切りで利用でき、生徒達は90分間ですっかり疲れ果てていました。学園近隣には意外とたくさんのアクティビティ施設があり、今学期中には回り切れませんでした。今学期最後は、Windsor のクリスマスマーケットとアイススケート場に出かける予定です。(千晶)

Visit to Eton College 11月8日(金)

On Friday, the first year students visited Eton College. We were given a tour of the college in Japanese by one of the students and then had a chance to chat with some other students who were also studying Japanese. Finally, we all had a delicious lunch together in the Eton cafeteria. It was an excellent chance to meet the students and see the college. Thank you to the teachers and students.(Richard)

病院見学 11月10日(日)

Queen Charlotte's & Chelsea Hospital 見学

11月10日(日)に、7名の生徒たちとロンドンの病院見学に出かけました。日ごろ訪れる機会の少ないイギリスの病院を見学して見聞を広げること、また、進路選択の手助けとすることを目的に企画し、イギリスで働く4名の日本人助産師・看護師の方々が協力して下さいました。今回は、お産が行なわれるマタニティー病院を見学させてもらい、その後、事前に生徒たちから提出した30あまりの質問に、助産師・看護師の皆さんが自身の経験を交えながら答えて下さいました。学園に戻った後、生徒たちは学びを1枚のポスターにまとめ、教室棟に掲示しましたが、イギリスと日本の医療システムの違いや医療人としての心構え、また“多様性があることは良いこと”と考えるイギリスでの仕事のやりがい、そして人とのコミュニケーションのとり方など、多くのことを学んだようです。(栗木)



クロスカントリー 11月18日(月)

11月18日(月)、毎年恒例のクロスカントリーが行われました。雨が非常に多かったこの2学期ですが、この日は久しぶりの晴天に恵まれ、良いコンディションの中で実施することができました。開始前は雨の影響での練習不足が心配されましたが、生徒たちは非常によく頑張り、自己ベストを更新する者が多く、例年に比べてもレベルの高い結果となりました。また、女子は1~3位までを1年生が占め、男子も3位に1年生が入るなど、1年生の活躍が目立った大会でもありました。走り終えた生徒たちは、それぞれのベストを尽くした非常に良い表情をしていました。(山田)



Visit to the Scouts 11月7日(木)

On 7th November, members of the International Exchange Committee visited the local Scout Group. After the opening ceremony, everybody took part in a night hike around the local park. It was a chance to practice our map reading skills in the dark. Although it was cold, everybody had a great time and we all enjoyed the chips the Scouts prepared at the end. Thanks to the Scouts and we'll see them again next year. (Richard)



Remembrance 11月11日(月)

Students from Ko1 joined the local Remembrance Day ceremony with other school children and local people on November 11th. A short service was held near the school and students from the class laid a wreath to remember those who have died in wars around the world. (Richard)



Macmillanへの寄付

緑舎祭の際に行なったMacmillan Coffee Morningでの収益金に、2年生家庭科バザーの収益金を加えた、合計£325.78を、学園近くのMacmillan Centreに、2年生の代表3名と寄付をしに出かけました。当日は、地域を管轄するマネージャーの方も我々を迎えてくださり、授業を通してのチャリティー参加をととても喜んでくださいました。Macmillanで働き始めたきっかけや、具体的な活動内容、仕事のやりがいなど、生徒たちからの質問にも丁寧に答えてくださり、今後もぜひ一緒に活動をしていきたいと思います。今年の2年生の取り組みは、Macmillanのニューズレターにも近々掲載される予定です！（栗木）

ハロウィンパーティー (寮企画)

10月24日(木)

毎年恒例、寮企画のハロウィンパーティーでは、ホラームービー鑑賞後、学園内で肝試しをしました。お化け役の生徒たちはとても気合が入っており、あちこちからは悲鳴が聞こえてきました。最後はみんなでお菓子やジュースを囲んで団欒し、楽しく過ごせたようでした。寮執行部は、短い準備期間の中よく頑張り、「みんなが楽しんでくれて良かった。」と嬉しそうな顔をしていました（千晶）



Fulmer Fireworks (寮企画)

11月8日(金)

11月8日(金)にFulmer村のGuy Fawkes Nightに寮生7名と参加してきました。Guy Fawkesとは、1605年11月5日に国王の殺害を企んだ一人。企ては失敗し、国王と国が守られたということを記念し、イングランド各地で、花火とかがり火のイベントが行われます。日本の花火大会と比べると少し規模は小さいですが、間近で花火が見られ、英国文化に触れられた夜になりました。（中本）



